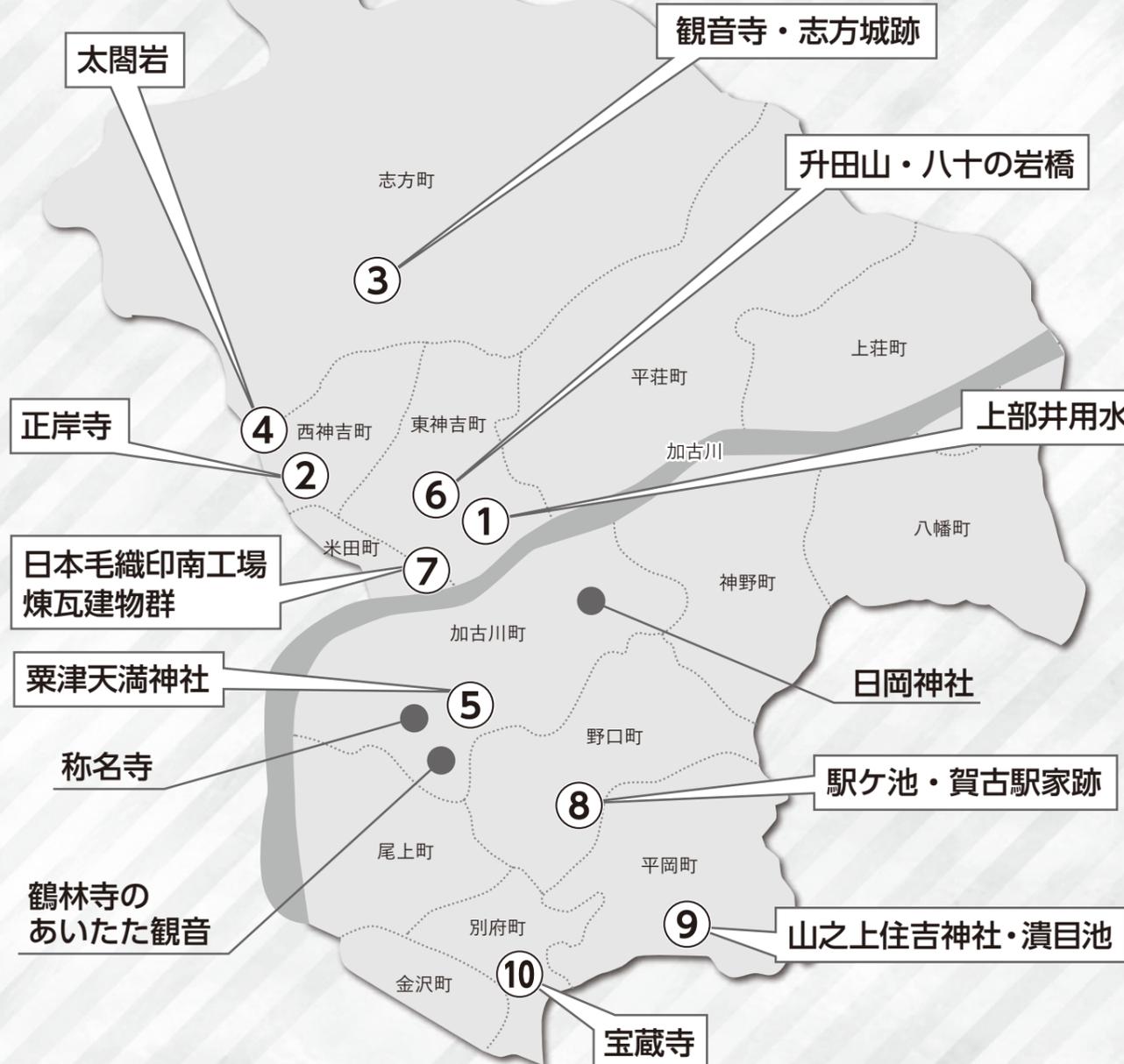


歴史の風を感じて ぶらり加古川まちあるき

加古川には、歴史に触れ・感じられる場所が多くあります。また、このたび加古川市が発行する観光ガイドブック「わがまち加古川70選」にも、これまでの60カ所から、歴史のある場所を含めた10カ所が追加されました。

今月は、その新たな10カ所(①~⑩)とともに、加古川の歴史を感じる地をご紹介します。爽やかな春の日差しのもと、加古川の歴史を巡ってみてはいかがでしょうか？

「わがまち加古川70選」は、加古川観光協会事務所・加古川駅構内まち案内所で配布しています。HPはこちら



① 上部井用水

(加古川市東神吉町)

1960年(慶長5)、姫路城主の池田輝政によってすすめられ、60年後の松平直矩の時代に完成した井堰と伝えられており、現在も高砂市にかけて広く利用されています。

③ 観音寺・志方城跡

(加古川市志方町)

志方町は櫛橋家の居城で、戦国時代の軍師、黒田官兵衛の妻・光(てる)の実家です。現在、本丸跡には曹洞宗の寺院、観音寺が建っています。

✿ 光姫

櫛橋伊定の娘で、嫁いだ黒田家では、才能と容姿に加え、徳も兼ね備えた「才徳兼備」と称えられ、戦国には珍しい一夫一妻の夫婦でした。



(出典：加古川市)

② 正岸寺 (加古川市西神吉町)

陰陽師安倍晴明に並ぶ力を持つと称された蘆屋道満が誕生したと言われる場所に建つ寺院。

✿ 蘆屋道満

安倍晴明に教えを受け、文献などでは安倍晴明と術比べなどで登場し、常にライバルとされ、「正義の晴明」に対して「悪の道満」とされています。



(出典：加古川市)

④ 太閤岩

(加古川市西神吉町)

羽柴秀吉が志方城を攻めた際、この場所に本陣を置き采配をとる時に座ったと伝えられている岩です。



(出典：加古川市)

✿ 志方城攻め

1578年(天正6)城主の櫛橋伊定が、羽柴秀吉に反旗を翻した三木城主別所長治についたため、織田信忠軍に攻略され、降伏・開城しました。

⑤ ★ 栗津天満神社

(加古川市加古川町)

菅原道真が大宰府に左遷途中、この地に立ち寄ったため、地域の発展、五穀豊穡、学問の徳を授かるうと村人たちによって建てられました。本殿に「天神さま元和元年(1615年)創建」との記録が残されています。

✿ 菅原道真

幼少の頃より学問の才能を発揮し神童と称され、讃岐国の長官として赴任された際も国を建てなおすなど善政を行い、政治の中心で活躍しました。

右大臣の時、左大臣の藤原時平の政略により大宰府に突如左遷されることとなり、わずか2年後にその生涯を閉じました。

現在も菅原道真は文道・学問の神として人々の信仰を集めています。



⑥ ★ 升田山・八十の岩橋 (加古川市東神吉町)

水管橋の北に位置し、初心者にも登りやすい山として人気です。2019年8月には登山道も整備され、案内板やガイドチェーンも設置されました。登山口は、升田登山口とウェルネスパーク側登山口など。両登山口間は約1.6km。1時間弱で行けるので、気軽に登山を楽しむことができます。



初心者はもちろん、ファミリーにもオススメです。山頂から加古川の街並みを見渡すことができ、初心者にも登りやすいことから高御位山と並ぶ加古川の登山スポットとして最近注目を集めています。その升田山の東側には「八十の岩橋」と呼ばれる自然にできた石段があり「播磨国風土記」には、この石の階段を80人の神が、天と地を行き来していたと言われています。急傾斜部にはガイドチェーンが設置されていますが、滑り止め付きの軍手があると、より安全。下りは少しずつ慎重に。岩の窪みをうまく使えば、案外、楽に下りられます。

